

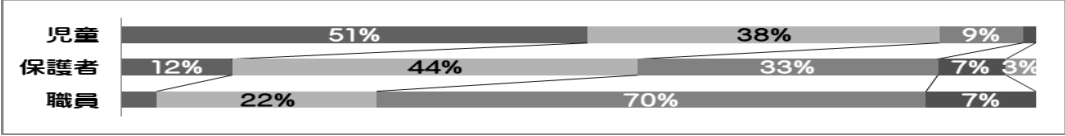
## 学校自己評価アンケートの結果から ご協力ありがとうございました

学校では毎年、学校運営の成果や課題を検証し改善の方向を明らかにして次年度に生かすことを目的に学校自己評価を行っています。本年度も学校が目指す重点目標に照らして、保護者・職員・子どもの三者に同じ内容の質問に答えていただきました。三者の受け止め方を比較し今後の学校運営に生かしていこうと考えます。結果を集計しましたので報告させていただきます。

**アンケート回答数・回収率**  
 児童：439名(回収率 98%)  
 保護者：393名(回収率 88%)  
 職員：34名(回収率 100%)

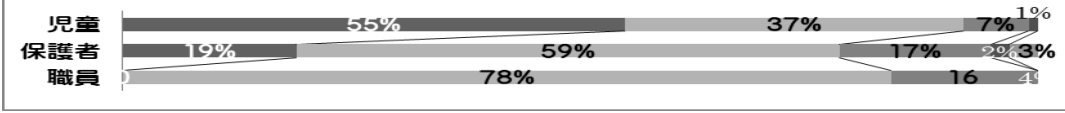
**グラフの見方**  
 ○丸番号はアンケートの質問事項 ( )は児童向けの質問。  
 ○グラフ中の数字は%を示す。  
 ○凡例 左から ・いつもそう思う ・だいたいそう思う  
           ・あまりそう思わない ・全く思わない ・わからない  
 ○肯定率は「いつもそう思う」「だいたいそう思う」を合算した数字を示す

①学校や地域であいさつができています。



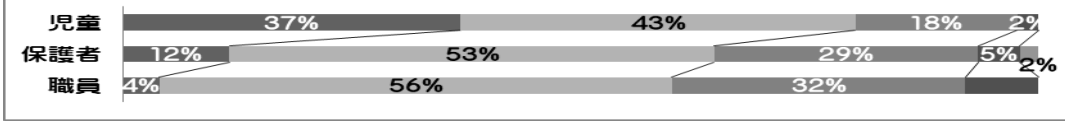
**肯定率**  
 児童 89%  
 保護者 56%  
 職員 23%

②だれとでも仲よくしようとしている。



**肯定率**  
 児童 92%  
 保護者 78%  
 職員 78%

③整理整頓を心がけものを大事にしている。



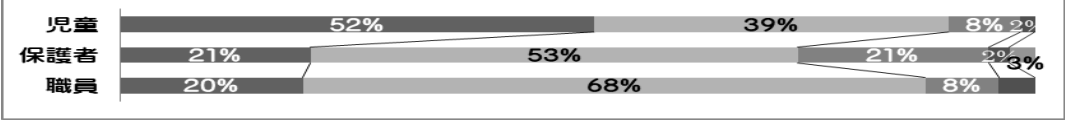
**肯定率**  
 児童 80%  
 保護者 65%  
 職員 60%

④最後まで頑張ろうとしている。(そうじを時間いっぱい頑張っている)



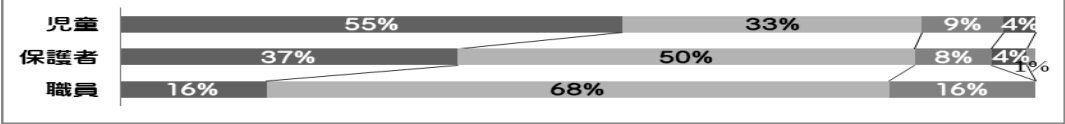
**肯定率**  
 児童 84%  
 保護者 88%  
 職員 84%

⑤本気で勉強している。



**肯定率**  
 児童 91%  
 保護者 74%  
 職員 88%

⑥喜んで学校に通っている。(学校は楽しい)



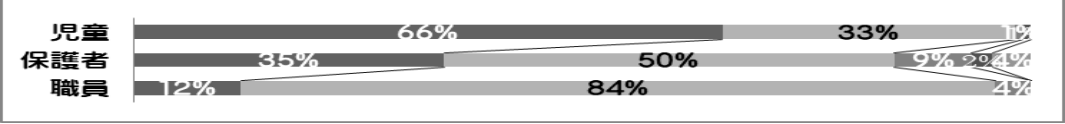
**肯定率**  
 児童 88%  
 保護者 87%  
 職員 84%

⑦安全に注意して生活している。(交通ルールを守っている)



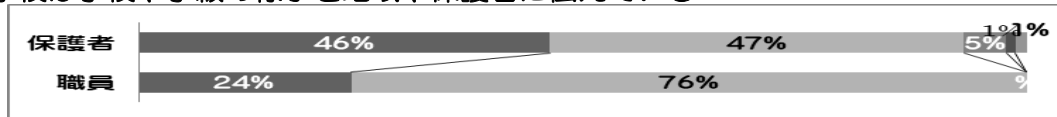
**肯定率**  
 児童 95%  
 保護者 84%  
 職員 92%

⑧教師は子どもたちを理解し適切に指導している。(困った時相談にのってくれる)



**肯定率**  
 児童 99%  
 保護者 85%  
 職員 96%

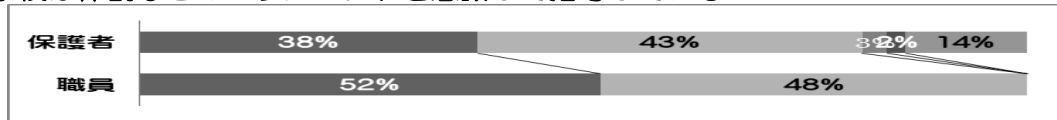
### ⑨学校は学校や学級の様子を地域や保護者に伝えている



肯定率

保護者 93%  
職員 100%

### ⑩学校は体罰などのハラスメントを意識して指導している



肯定率

保護者 81%  
職員 100%

## 考察

### ①あいさつについて

児童の自己評価と保護者や職員からの評価の差が大きい。自分ではできていると思っても実際は「自ら進んで」「気持ちよく」挨拶できる児童は多くないと感じる。周囲の大人が「自分から気持ちよく挨拶する」姿を見せることが児童の一番の学びになるのではないかと思う。児童だけでなく大人も気持ちのよい挨拶を意識することが大切だと感じる。

### ②誰とでもなかよくについて

児童の肯定率が92%ととても高い、職員・保護者の肯定率は70%台後半にとどまっている。児童は仲良くしていると思っているが、大人が目線で見ると課題も感じられ、児童との差が見られる。また、「そう思わない」児童もいることを大切に捉え、児童一人一人の様子をていねいに観察したり、相談したりしながら対応していく必要がある。

### ③ものを大事にしているについて

児童の肯定率のみ80%に達しているが、「整理整頓をしているか」という質問であるため、保護者や職員よりも上回っていると考えられる。職員は学校での落とし物や物の扱い方、保護者は家庭での様子から評価していると考えられる。学校や家庭で記名はもちろん、物や道具の扱い方などを正しく教え、物を大切にすることを育てていく必要がある。

### ④最後まで頑張るについて

肯定率を見ると、保護者が一番高くなっている。児童には、学校の清掃の時間に限った質問をしているため16%の児童が清掃に集中して取り組めていないということになる。保護者は、お手伝いや家庭学習、習い事等での姿、職員は、学習や係活動、当番活動など清掃以外での姿からも評価しているので、肯定率が高くなっていると考えられる。

### ⑤本気で勉強について

職員と子どもの肯定率が高くなっている。逆に、家庭の様子で評価している保護者の肯定率が一番低い。学校の授業では一生懸命頑張っているが、家庭ではリラックスしている児童の姿が想像される。しかし、保護者の肯定率も74%なので、学校でも家でも勉強を頑張っている児童が多いと評価できるのではないか。

### ⑥喜んで登校しているについて

肯定率を見ると、概ね80%を超えている。楽しく学校へ通っている児童が多いことがうかがえる。しかし、児童の「あまりそう思わない」「そう思わない」が13%いることに対しては、日頃から児童の様子をよりの確に捉え、一人一人の声をしっかり聞き、その都度、個に応じた対応をしていかなければならないと考える。

### ⑦安全に生活しているについて

児童の肯定率が一番高くなっている。交通ルールを守り、安全に登下校している児童はいるが、事故や危険な場面に遭遇していないため「交通ルールを守っている」と感じたり、自分に甘く評価したりしている児童も多いためではないか。職員や保護者は、交通ルールを守らずに歩いている姿を見たり地域からの声を聞いたりする機会があるので「そう思う」の評価は少ないと考える。安全指導については学校、家庭、地域で協力して積み重ねていく必要がある。

### ⑧児童理解について

職員の肯定率は96%と高くなっている。しかし、保護者の11%は「相談にのってくれない」と感じている。職員は児童について理解し、適切に指導していると感じているが、保護者にとっては満足できていないという現実があることを真摯に受け止め、さらに努力し、保護者と連携して子どもたちを理解していく必要がある。

### ⑨家庭への情報発信について

肯定率は、職員よりも保護者の方がやや低いという結果になっている。保護者は「お便り」を中心に回答していると思われるので、職員は連絡だけの内容に留まらず、学校での児童の生活や活動の様子が伝わるよう、お便りの内容を充実させていく必要がある。

### ⑩体罰などのハラスメントについて

職員は研修を積み重ね、高い意識を持って子どもたちと関わっているが、全ての保護者にそのことが伝わっているわけではない。今後も研修を繰り返し行い、児童や保護者が安心して接することができる関係を築きたい。

以上、アンケートについての成果と課題を考察しました。また自由記述では子ども達のさらなる成長のために、貴重なご意見をいただき本当にありがとうございました。学校として大切に受け止め職員一同子ども達の成長のために力を合わせてがんばってまいります。これまで同様ご支援ご協力のほど、よろしくお願いします。